

令和3年3月期 決算短信（非連結）

令和3年5月10日

会社名 OMソーラー株式会社

本社所在都道府県 静岡県

本社所在地 静岡県浜松市西区村櫛町4601

問い合わせ先 責任者部署名 事業管理部

氏名 内山 静

TEL (053) 488-1553

1. 令和3年3月期の業績（令和2年3月21日～令和3年3月20日）

（注） 1. 本決算短信の数値は、未監査です。

2. 本決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。

3. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

（1）経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	千円	%	千円	%	千円	%
令和3年3月期	1,526,359	(△1.3)	20,859	(514.4)	13,835	(767.2)
令和2年3月期	1,546,810	(8.0)	3,394	(-)	1,595	(-)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
令和3年3月期	2,617	(-)	366 47	—	—	1.1	0.9
令和2年3月期	△88,551	(-)	△12,398 70	—	—	0.1	0.1

（注）1. 期中平均株式数 令和3年3月期 普通株式 7,142株 令和2年3月期 普通株式 7,142株

2. 会計処理の方法の変更 (有)・無

3. 売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率です。なお、当期純利益の対前年同期増減率は、金額がマイナスである為、記載していません。

4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため、算出を省略しております。

5. 自己資本当期純利益率につきましては、自己資本がマイナスである為、記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	千円	千円	%	円	銭
令和3年3月期	1,262,172	△45,477	△3.6	△6,367	61
令和2年3月期	1,228,336	△48,094	△3.9	△6,734	08

（注） 期末発行済株式数 令和3年3月期 普通株式 7,142株 令和2年3月期 普通株式 7,142株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
令和3年3月期	86,418	△44,629	30,852	97,718
令和2年3月期	49,839	16,125	△81,727	24,004

(注) 貸借対照表上の「現金及び預金」とキャッシュ・フロー計算書上の「現金及び現金同等物」との調整は以下のとおりです。

項 目 名	令和2年3月期	令和3年3月期
貸借対照表上の「現金及び預金」	24,004千円	97,718千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	－千円	－千円
現金及び現金同等物	24,004千円	97,718千円

2. 令和4年3月期の業績予想 (令和3年3月21日～令和4年3月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	千円	千円	千円
通期	1,592,000	25,000	25,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 3,500円42銭

これらの予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

3. 配当状況

現金配当	1株当たり配当金(円)							配当金総額 (千円)	配当 性向 (%)	純資産 配当率 (%)
		第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	その他	年間			
令和2年3月期	普通株式	—	—	—	—	—	—	0	—	—
令和3年3月期	普通株式	—	—	—	—	—	—	0	—	—
令和4年3月期 (予想)	普通株式	—	—	—	—	—	—	0	—	—

4. コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

(1) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は公正かつ効率的な経営に取り組むにあたり、コーポレート・ガバナンスが重要な課題であると認識しております。そのため、経営の意思決定の内容及び過程を明確にし、利害関係者の意思や利益を適切に反映していくように努めております。

(2) コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況

当社の取締役会は、令和3年3月現在4名により構成し、会社法に定められた取締役会に加え、執行役員会議の開催をしており、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行の状況を逐次監督しております。

また、当社は非公開会社となりましたが、引続きこれまでの会計監査を継続すると共に、株主をはじめとしたステークホルダーに対して経営情報の公正な開示を目的として、四半期ごとの決算データ開示を中心とした情報開示に努めて参ります。但し、証券取引所の開示ルールに則ったものではなく、私的な開示であることにご留意下さい。

## 5. 反社会的勢力との関係排除への仕組みとその運用状況

### (1) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社は、市民生活の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会生活の発展を妨げる反社会的勢力に対しては毅然とした態度で組織的に対応しております。

### (2) 反社会的勢力排除に向けた整備状況

#### ①対応部署の設置

事業管理部を対応部署とし、不等要求などの事案ごとに関係部門と協議し、対応します。

#### ②反社会的勢力に関する情報の収集管理

反社会的勢力に関する情報を収集し一元管理するとともに、反社会的勢力に該当するかの確認を行っております。

令和3年5月10日

## 第23期 決算速報

(令和2年3月21日～令和3年3月20日)

会社名 (定款上の商号) OMソーラー株式会社  
英文名 (英文商号) OM Solar, inc.  
代表者の役職氏名 代表取締役 飯田 祥久  
本店の所在の場所 静岡県浜松市西区村櫛町 4601  
電話番号 053-488-1553  
連絡者 事業管理部 内山 静

### I 当期の業績

#### (1) 損益計算書

(単位：千円)

科目	第22期 自平成31年3月21日 至令和2年3月20日		第23期 自令和2年3月21日 至令和3年3月20日	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
I 売上高	1,546,810	100.0	1,526,359	100.0
II 売上原価	1,087,404	70.3	1,070,122	70.1
売上総利益	459,406	29.7	456,236	29.9
III 販売費及び一般管理費	456,011	29.5	435,376	28.5
営業利益又は損失(△)	3,394	0.2	20,859	1.4
IV 営業外収益	8,997	0.6	3,168	0.2
V 営業外費用	10,797	0.7	10,192	0.7
経常利益又は損失(△)	1,595	0.1	13,835	0.9
VI 特別利益	—	0.0	2,164	0.1
VII 特別損失	89,850	5.8	13,086	0.9
税引前当期純利益又は純損失(△)	△88,255	△5.7	2,913	0.2
法人税、住民税及び事業税	296	0.0	296	0.0
当期純利益又は純損失(△)	△88,551	△5.7	2,617	0.2

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 22 期	第 23 期
		自平成 31 年 3 月 21 日 至令和 2 年 3 月 20 日	自令和 2 年 3 月 21 日 至令和 3 年 3 月 20 日
期 中 平 均 株 式 数		7,142 株	7,142 株
1 株 当 た り 当 期 純 利 益		△12,398 円 70 銭	366 円 47 銭
潜在株式調整後 1 株当たり 当 期 純 利 益		—	—

※ 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在しますが、当社株式は非上場・非登録であり、期中平均株価の算定が困難なため、算出を省略しております。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業部門	第 22 期		第 23 期	
	金 額	構成比	金 額	構成比
○ M 会 員 事 業	1,154,412	74.6	1,109,708	72.7
フロンティア事業	212,046	13.7	347,894	22.8
施設建築事業	46,626	3.0	36,186	2.4
メンテナンス事業	96,688	6.3	1,481	0.1
太陽光発電事業	27,279	1.8	26,664	1.7
そ の 他 事 業	9,757	0.6	4,424	0.3
合 計	1,546,810	100.0	1,526,359	100.0

※ 上記金額には、消費税は含まれておりません。

(3)貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第 22 期 (令和 2 年 3 月 20 日現在)		第 23 期 (令和 3 年 3 月 20 日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
( 資 産 の 部 )		%		%
I 流動資産				
1. 現金及び預金	24,004		97,718	
2. 売掛金	270,144		257,672	
3. 商品	217,269		213,910	
4. 未収入金	3,562		3,703	
5. 短期貸付金	71,550		69,090	
6. その他流動資産	34,902		26,345	
7. 貸倒引当金	△2,600		△2,600	
流動資産合計	618,834	50.4	665,839	52.8
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物	260,186		256,844	
(2) 建物附属設備	19,727		17,407	
(3) 構築物	10,870		7,058	
(4) 機械及び装置	125,233		109,689	
(5) 工具器具備品	1,291		867	
(6) 一括償却資産	440		653	
(7) リース資産	11,695		5,847	
(8) 土地	—		18,231	
有形固定資産合計	429,446	35.0	416,599	33.0
2. 無形固定資産				
(1) 借地権	37,071		37,071	
(2) ソフトウェア	19,956		14,963	
(3) 電話加入権	2,770		2,770	
無形固定資産合計	59,798	4.9	54,806	4.3
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	1,500		1,500	
(2) 出資金	10		10	
(3) 子会社株式	9,900		9,900	
(4) 長期貸付金	2,143		2,143	
(5) 差入保証金	6,979		7,029	
(6) 敷金	20,143		20,143	
(7) 積立保険料	65,179		72,709	
(8) 長期前払費用	14,400		12,563	
投資その他の資産合計	120,256	9.8	125,998	10.0
貸倒引当金	—		△1,071	△0.1
固定資産合計	609,501	49.6	596,332	47.2
III 繰延資産				
社債発行費	—	0.0	—	0.0
繰延資産合計	—	0.0	—	0.0
資産合計	1,228,336	100.0	1,262,172	100.0

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	第 22 期 (令和 2 年 3 月 20 日現在)		第 23 期 (令和 3 年 3 月 20 日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
( 負 債 の 部 )		%		%
I 流 動 負 債				
1.買 掛 金	234,198		260,344	
2.短 期 借 入 金	137,000		111,000	
3.未 払 金	39,277		32,961	
4.未 払 消 費 税	10,178		8,977	
5.未 払 法 人 税 等	296		296	
6.預 り 金	3,589		4,342	
7.仮 受 金	218		—	
8.未 払 配 当 金	340		340	
9.賞 与 引 当 金	11,902		12,719	
流 動 負 債 合 計	437,002	35.6	430,982	34.1
II 固 定 負 債				
1.長 期 借 入 金	498,188		461,356	
2.資 本 性 借 入 金	—		100,000	
3.リ ー ス 債 務	12,630		6,315	
4.預 り 保 証 金	317,670		298,056	
5.役 員 退 職 給 与 引 当 金	10,940		10,940	
固 定 負 債 合 計	839,428	68.3	876,667	69.5
負 債 合 計	1,276,430	103.9	1,307,649	103.6
( 純 資 産 の 部 )				
I 株 主 資 本				
1.資 本 金	100,000	8.1	100,000	7.9
2.資 本 剰 余 金				
資 本 準 備 金	357		357	
そ の 他 資 本 剰 余 金	6,636		6,636	
資 本 剰 余 金 合 計	6,993	0.6	6,993	0.6
3.利 益 剰 余 金				
(1)利 益 準 備 金	357		357	
(2)そ の 他 利 益 剰 余 金				
繰 越 利 益 剰 余 金	△155,445		△152,827	
利 益 剰 余 金 合 計	△155,088	△12.6	△152,470	△12.1
株 主 資 本 合 計	△48,094	△3.9	△45,477	△3.6
純 資 産 合 計	△48,094	△3.9	△45,477	△3.6
負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,228,336	100.0	1,262,172	100.0

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

項 目	期 別	第 22 期 (令和 2 年 3 月 20 日現在)	第 23 期 (令和 3 年 3 月 20 日現在)
	発行済株式総数		7,142 株
1 株当たり純資産額		△6,734 円 08 銭	△6,367 円 61 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(前事業年度 自平成 31 年 3 月 21 日 至令和 2 年 3 月 20 日)

(単位：千円)

項目	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	利益 準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	
平成 31 年 3 月 21 日残高	100,000	357	6,636	357	△66,893	40,456
事業年度中の変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—	△88,551	△88,551
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△88,551	△88,551
令和 2 年 3 月 20 日残高	100,000	357	6,636	357	△155,445	△48,094

(当事業年度 自令和 2 年 3 月 21 日 至令和 3 年 3 月 20 日)

(単位：千円)

項目	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	利益 準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	
令和 2 年 3 月 21 日残高	100,000	357	6,636	357	△155,445	△48,094
事業年度中の変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—	2,617	2,617
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	2,617	2,617
令和 3 年 3 月 20 日残高	100,000	357	6,636	357	△152,827	△45,477



(5)重要な会計方針

期 別 項 目	第 23 期 自令和 2 年 3 月 21 日 至令和 3 年 3 月 20 日
1. たな卸資産の評価基準及び評価方法	商品 移動平均法による原価法
2. 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 平成 28 年 4 月 1 日以前に取得した有形固定資産については定率法を、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。 (2) 無形固定資産 販売目的ソフトウェアは、見込み販売数量に基づく方法又は残存有効期限（3 年以内）に基づく定額法によっており、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（4 年）に基づく定額法によっております。
3. 引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れの損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 (2) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額基準により計上しております。
4. リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
5. その他の財務諸表作成の為の重要な事項	消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

(7) 表示方法の変更

該当事項はありません。

## II 第23期（令和2年3月21日～令和3年3月20日）の業績の概況

当事業年度における当社の状況は、主力である会員事業部が若干減収となったものの、フロンティア事業部の大口先の受注が増加していることから、前期比減収増益となりました。コロナ禍の影響により、お客様の予算の縮小、競争の激化により工務店の経営環境は悪化しております。

会員事業部におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、ここ数年販売実績のない工務店12社の退会がありました。工務店への訪問などの営業活動が困難な状況が続く、大幅な受注件数の減少が予想されましたが、オンラインを活用した会議・セミナー等の活動により、OMXやパッシブエアコンの受注が好調に推移しており、第2四半期以降利益額・率ともに安定しております。また、サステナブル先導事業に伴う補助事業の受付開始、8月より実施しているハンドリングボックス等のキャンペーンでの買換数も増加しております。デジタルマーケティング導入等の会員各社の先進的取り組みもあり、昨年と同様の受注となりました。

また、12月に築30年の中古物件をリノベーションし、All Time Real ZEHシステムを導入したモデルハウスが完成しました。東京大学と共同で温熱環境をベースとした実証実験を行っており、今後OMXの快適性・省エネ性の向上にフィードバックしてまいります。以上の結果、売上高は1,109百万円(前期比△3.9%減)となりました。来期以降も引き続きオンラインを活用した打合せや、工務店の事業活動のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、更に新入会獲得に向けての活動に注力してまいります。

フロンティア事業部におきましては、訪問活動の制限により既存取引先への営業不足、新規取引先獲得のイベントが開催出来なかったことにより、地場工務店向けの受注が低調に推移しておりますが、大口向けの採用数の増加(前期比94.4%増)及び、設置工事サービスの受注が好調(前期比186%増)で、大幅な売上増となりました。以上の結果、売上高は347百万円(前期比64.1%増)となりました。

メンテナンス事業部におきましては、メンテナンス部材の売上を会員事業部へ主管を移したことにより、売上高は1,481千円(前期比△98.5%減)となりました。来期より、会員事業部へ全て移管される予定です。

販売費及び一般管理費におきましては、DX対応・設計人員確保等による人件費の増加(10,952千円)がありますが、交通費の減少(19,067千円)、減価償却費の減少(8,651千円)、交際費の減少(4,814千円)により、全体で20,634千円の削減となりました。特にコロナの影響により、交通費の減少が顕著です。

特別損失には、SHARES蒲郡のOM-WORKSの売却損(6,374千円)、民事再生となった会員工務店の貸倒損失(6,711千円)が計上されております。

以上の結果、売上高1,526,359千円(前年同期比△1.3%)、営業利益20,859千円(前年同期比514.4%)、経常利益13,835千円(前年同期比767.2%)、当期純利益2,617千円(前年純利益△88,551千円)となりました。

## III 第24期通期の売上高及び利益の予測について

(単位：千円)

科 目	期 別	第23期（実績）	第24期（予想）
		令和2年3月21日 令和3年3月20日	令和3年3月21日 令和4年3月20日
売 上 高		1,526,359	1,592,000
営業利益又は営業損失（△）		20,859	34,000
経常利益又は経常損失（△）		13,835	25,000
当 期 純 利 益		2,617	25,000

#### IV 資金及び借入金の状況

##### (1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科目	期別	第22期	第23期
		自平成31年3月21日 至令和2年3月20日	自令和2年3月21日 至令和3年3月20日
現金及び預金の増減額		△15,762	73,713
現金及び預金の期首残高		39,767	24,004
現金及び預金の期末残高		24,004	97,718

増減の理由：

主な増加要因は、資本金劣後ローン 100,000 千円の増加、長期借入金の増加 139,000 千円、買掛金の増加 26,146 千円、仮払金の減少 5,200 千円などによるものです。主な減少要因は、借入金の約定返済 149,832 千円、預り保証金の減少 19,614 千円、売掛金の減少 12,472 千円、未払金の減少 6,315 千円によるものです。尚、メイン商工中金の主導により本格的な財務改革への取り組みを開始しており、劣後ローンはその一環となります。

##### (2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科目	期別	第22期	第23期
		自平成31年3月21日 至令和2年3月20日	自令和2年3月21日 至令和3年3月20日
短期借入金の増減額		14,000	△26,000
短期借入金の期首残高		123,000	137,000
短期借入金の期末残高		137,000	111,000

増減の理由：

主な減少要因は、約定返済 26,000 千円によるものです。

##### (3) 長期借入金の増減

科目	期別	第22期	第23期
		自平成31年3月21日 至令和2年3月20日	自令和2年3月21日 至令和3年3月20日
長期借入金の増減額		△89,370	63,168
長期借入金の期首残高		587,558	498,188
長期借入金の期末残高		498,188	561,356

増減の理由：

主な増加要因は、新規借入 139,000 千円、資本金劣後ローン 100,000 千円によるものです。主な減少要因は、約定返済 175,832 千円によるものです。

#### V その他

該当事項はありません。